

これからの社会を担う新たな スポーツ指導者育成システム開発

実施背景

本委託事業は、大学のスポーツ資源を「有機複合的に活用」し、「自治体等の地域の組織・団体とも十分に連携・協力」し、「地域の課題を解決する取組をモデル的に実施、事業の検証分析を実施」し、「その成果の全国への横展開」を目的とするものである。

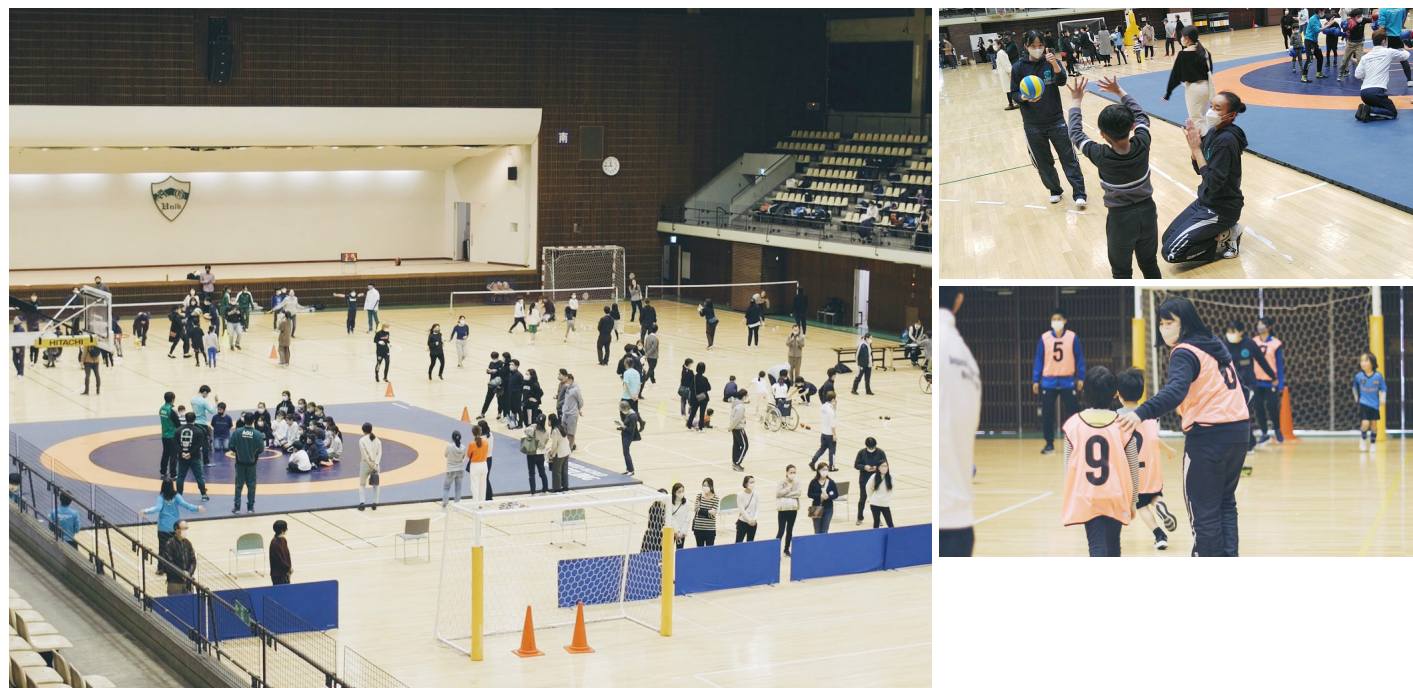
目的(地域課題の解決など)

青山学院大学は、将来のライフスタイルを決定する時期であるこどもの「スポーツ離れ」、それに関連する「スポーツ指導者の量的・質的不足」、大きな教育的意義を有する運動部活動の「地域移行推進」を課題として取り上げ、この課題を解決する一つの方策としてこれからの社会を担う「信頼されるスポーツ指導者」の育成開発システムを模索するために、事業を実施した。

取り組んだ具体的な施策

青山学院大学は、スポーツを通じてその後の社会で役に立つような指導ができるとともに、スポーツによる場づくり・コミュニティづくりができる「スポーツ指導者」に付加価値を与えるようなキャリアパス開発をするための事業を行っている。事業は大きく分けて「指導者育成研修関連事業」すなわち研修事業の実施とその事業モデル開発、そして「地域社会貢献イベント事業」を実施した。

当初の計画では研修修了者を部活指導員として実際に地域に派遣する予定だったが、部活の地域移行計画の実施期間に変更があったことにより、大幅な計画の変更を余儀なくされ、地域社会貢献イベント事業の質・量を深め、スポーツを通じた場づくりや、指導の実地研修の知見を集める等、研修内容の検討をより深めることとした。



指導者育成研修関連事業

指導者育成研修関連事業では、令和5年1月15日に『「信頼されるスポーツ指導者」研修シリーズVol.1』を導入講座として行っている。研修における講義の一部を紹介すると、まず陸上競技指導者でありスポーツ解説者としてのキャリアも持つ原晋教授による「現代に求められる指導者」、「成長する組織づくりと実例」をテーマに講義が行われた。また、星川精豪非常勤講師による講義「発達段階のからだを知る」では、子どもの発達過程に合わせた正しいトレーニングを行う必要があること等が語られた。

また令和5年1月21日にはオンラインシンポジウム「これからのスポーツ指導者に求められるものとは」が開催された。部活の地域移行のタイミングで大きな変化があるであろう「これからのスポーツ指導者」について意見が交わされた。部活の地域移行においては地域の実情を反映した体制を作ることが必要であるという提言がなされた。一方でこれからのスポーツ指導者に求められる能力や考え方については共通のものがあることが示され、これらの知見を、同学の今後の研修開発およびパッケージ化に生かしていくこととした。



地域社会貢献イベント事業

地域社会貢献イベント事業は「教室・研修」を延べ41回、サッカー、ラグビー、その他のさまざまなスポーツの体験イベントを計7回実施した。研修で培った知識、技術を実践の場である「地域・社会連携イベント」で確認、挑戦し更に指導者としての経験を積み、スキルを向上させる等の目的で実施されている。多くの参加者から好評を得るとともに、指導者として参加したコーチ、大学生にとっても多くの学びを得ることができた。

結果と今後の展望

現地、オンライン各21名が参加した「信頼されるスポーツ指導者」導入講座では、95%のアンケート回答者から満足したとの回答が得られた。実技指導のわかりやすさに関しては「例えや具体的な説明でわかりやすかった」、「実践的でわかりやすかった」との意見があった。また、自由記載欄では「行政としてどのような活用ができるか今後検討したい」、「地域課題解決のために大学の力を注いでいただけることはありがたい。様々な分野で今日のような取り組みが広がってほしい」との意見があった。

協力・連携団体

- ・ 渋谷区 ・ 相模原市
- ・ 一般社団法人 渋谷ユナイテッド
- ・ 青山学院大学スポーツ健康イノベーションコンソーシアム
- ・ 一般社団法人アスリートキャリアセンター
- ・ 特定非営利活動法人 相模原市サッカー協会



担当者の声など詳細は
事業MOVIEをチェック！